

平成28年度 教育部長の目標宣言 達成状況報告

教育部長 谷亀 博久

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
1	教育委員会点検評価の実施 (教育総務課)	<p>・教育委員会の権限に属する事務について、教育委員会事務局で点検評価を行った後、教育委員による点検・評価を行います。また、専門家の知見と客観性を得るため、有識者から意見をいただき、報告書としてまとめ、市議会へ報告します。</p> <p>・この点検評価を生かし、次期教育振興基本計画策定の準備を進めます。</p>	<p>[目標値]</p> <p>・教育委員による点検評価会議の開催数 2回</p>	<p>・教育委員会事務局の自己評価後、教育委員による2回の会議を開催し、点検評価を実施しました。また、外部有識者の評価と意見をいただき、報告書としてまとめ、9月の全員協議会で市議会へ報告しました。</p> <p>[今後の取組の方向性]</p> <p>・H29は5年間の点検評価をまとめるとともに、その結果を生かして、次期教育振興基本計画の策定を進めます。</p>	<p>・教育委員による点検評価会議の開催数 2回</p> <p>第1回 H28. 7. 5(金) 午後2時30分から</p> <p>第2回 H28. 8.24(水) 午前10時30分から</p>
2	学校施設の保全 (教育総務課)	<p>・教育環境の安全性を維持するため、老朽化した小中学校校舎の修繕工事を実施します。また、学校施設の機能、性能の向上を図る改修工事を実施します。</p>	<p>[目標値]</p> <p>・校舎外壁修繕 2棟</p> <p>・校舎トイレ全面改修 1箇所</p> <p>・エレベーター設置 1校</p>	<p>・伊勢原小学校3期校舎(東西南面)及び竹園小学校校舎の外壁修繕工事並びに成瀬小学校校舎のエレベーター設置工事を実施しました。</p> <p>・校舎トイレの全面改修については、国の当初予算での補助は不採択でしたが、補正予算で採択されたため、平成29年度に繰り越して実施する予定です。</p> <p>[今後の取組の方向性]</p> <p>・国庫補助金を有効に活用し、計画的に修繕工事等を実施することにより、施設の安全性の維持や環境改善に努めます。</p>	<p>・校舎外壁修繕 2棟</p> <p>・校舎トイレ全面改修 0箇所</p> <p>・エレベーター設置 1校</p>
3	特定規模電気事業者(PPS)の導入 (教育総務課)	<p>・特定規模電気事業者との長期継続契約の導入により、更なる経費節減を図ります。</p>	<p>[目標値]</p> <p>・全ての教育施設についてPPSの導入について検討</p>	<p>・高圧電力は、H29から3年間の長期継続契約を締結し、経費削減に取り組みました。(小中学校全校、公民館3館)</p> <p>・低圧電力については、検討を行いました。契約締結にまでは至りませんでした。(公民館4館、武道館、文化財施設)</p> <p>[今後の取組の方向性]</p> <p>・低圧電力の施設については、H29の出来るだけ早い時期の契約締結を目指します。</p>	<p>・小中学校全校と公民館3館について、高圧電力の特定規模電気事業者との長期継続契約を締結</p>
4	生涯学習推進事業 (社会教育課)	<p>・「いせはら市民大学」を開催し、生涯学習推進リーダーを養成します。</p> <p>・平成29年度に、新たに市内の大学と連携した市民大学講座の開催に向けた調整を進めます。</p>	<p>[目標値]</p> <p>・生涯学習を推進するリーダーとして養成された者の延べ数 12人</p> <p>・新たな市民大学講座開催に向けた準備</p>	<p>・「第12期いせはら市民大学」を市民協働事業として開催し、45名が参加、内43名が修了しました。</p> <p>・新たな大学との連携による講座の開催については検討中ですが、具体的な調整には至りませんでした。</p> <p>[今後の取組の方向性]</p> <p>・事業を継続して人材育成に努めるとともに、新たな連携に向けた調整を進めて生涯学習機会の充実を図ります。</p>	<p>・生涯学習を推進するリーダーとして養成された者の延べ数 12人</p>

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
5	生涯学習活動サポート事業の推進 (社会教育課)	・公民館活動団体の情報を一元化した生涯学習活動情報誌サポートブックを作成し、市民からの学習相談等に積極的に対応することにより、生涯学習活動の活性化を図ります。	[目標値] ・サポートブックに登録された団体数 1,200団体	・分かりやすい情報提供に向け、情報提供項目の見直しを行いました。 ・市民からの学習相談に丁寧に対応し、新たな活動への参加を促しました。 [今後の取組の方向性] ・事業を継続し、精度の高い情報提供に向けて情報の整理、更新等に努めます。	・情報を提供する団体の数 1,200団体
6	(仮称)クルリン健康ポイント事業 (スポーツ課) 【健康づくり連携運動チーム】	・普段運動を行わないスポーツ無関心層や自身の健康づくりの必要性を感じているものの、行動に移せない市民を対象として、健康ポイント等のインセンティブ付き運動やスポーツプログラムを実施することにより、楽しみながら気軽に運動に参加できる環境を整備し、市民一人一人が健康づくりへの習慣と関心を高め、健康的な生活習慣の定着を推進する。	[目標値] 参加者のアンケートや取り組み前後の体組成測定を実施し、そのデータを検証、分析し、今後のスポーツ推進、健康増進事業の取り組みに活用する。	・多くの市民に運動やスポーツに興味や関心を持っていただき、運動・スポーツへの参加を促進し、健康的な運動習慣の定着化を図りました。 [今後の取組の方向性] ・運動・スポーツを通じた健康づくりをさらに推進するため、地域における活動の支援や運動・スポーツの習慣化への取り組みを継続的に実施します。	・参加者のアンケートや体組成測定数値など、事業の検証や分析を行いました。 ・参加者:214人
7	体力づくり推進事業 (スポーツ課)	・東海大学との包括提携事業である「東海大学市民健康スポーツ大学」や、市民主体の総合型地域スポーツクラブ「伊勢原・ふれすぼ」の運営支援を行い、多くの市民に運動の機会を提供し交流の場を設けます。 ・住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進に努めます。	[目標値] ・東海大学健康クラブの健康促進プログラムの提供を受ける市民の数 120人 ・チャレンジデー住民参加率 60%	・「東海大学健康クラブ」や「伊勢原・ふれすぼ」など、総合型地域スポーツクラブと連携し、多くの市民に運動する機会や市民交流の場を提供しました。 ・また、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に参加し、市民の健康増進を図りました。 [今後の取組の方向性] ・2つのスポーツクラブの事業運営の支援や地域における継続的な運動を推進します。またチャレンジデーの認知度と住民参加率の向上に努めます。	・東海大学健康クラブの健康促進プログラムの提供を受ける市民の数 82人 ・チャレンジデー住民参加率 53.1%
8	スポーツ・レクリエーション活動推進事業 (スポーツ課)	・市民に広くスポーツ・レクリエーション活動の機会を提供するとともに、市民自らが進んでスポーツ活動を行っていく環境づくりを推進します。また、講習会等の実施により伊勢原射撃場の市民利用を促し、競技人口の拡大、人材の育成を推進します。	[目標値] ・競技スポーツ大会、講習会の市民参加者数 8,500人	・幅広い世代の市民を対象に、各種競技団体との協働により、スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる機会を提供しました。 ・また、県立伊勢原射撃場を活用し、ビームライフル体験教室を開催し、競技人口の発掘や人材育成を推進しました。 [今後の取組の方向性] ・スポーツ関係団体の協力を得ながら、生涯スポーツの普及を図り、子どもからシニア世代までスポーツ活動への参加を促す取り組みを進めます。	・競技スポーツ大会、講習会の市民参加者数 8,421人

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
9	図書資料の充実 (図書館・子ども科学館)	・伊勢原ゆかりの人物に関する図書のコーナーを設置し、郷土への愛着と理解を深めます。 ・子どもの読書活動を推進するため児童書や書架の充実を図ります。	[目標値] ・伊勢原ゆかりの人物に関するコーナーの設置 ・子ども向け図書や書架の充実	・伊勢原ゆかりの人物コーナーや子ども向け図書コーナー(こみち文庫)について、目標どおり設置することができました。 [今後の取組の方向性] ・それぞれのコーナーの資料の充実や周知に努めます。	・地域にゆかりのある次のコーナーを設置しました。 ○「大田道灌」60冊 ○「福明子先生のせかい」114冊 ○「伊勢原にゆかりのある人の著作物」111冊 ○「大山に行く前に読みたい本」66冊 ・「こみち文庫」の開設 書架数10台・約1400冊
10	雑誌スポンサー制度の拡充 (図書館・子ども科学館)	・雑誌スポンサー制度を拡充し、雑誌等の更新・充実を図ります。	[目標値] ・雑誌数 14誌 ・効果額 14万円	・雑誌スポンサー制度の周知に努め、制度を拡充し、雑誌等の充実を図りました。 [今後の取組の方向性] ・今後も引き続き制度の周知に努め、スポンサーの拡充を図ります。	・雑誌数 17誌 ・効果額 14万円
11	子ども科学館業務支援会員制度の充実 (図書館・子ども科学館)	・これまでに養成した子ども科学館支援会員に活動の場と機会を提供し、各種事業の協力体制を構築します。	[目標値] ・登録支援会員数 25名 ・活動時間数 300時間	・支援会員の協力を得て、各種事業の充実を図り、市民の学習活動の支援に努めました。 [今後の取組の方向性] ・支援会員の活躍の場を提供するとともに、会員間の情報交換を進め、充実した事業展開を図ります。	・登録支援会員数 31名 ・活動時間数 441時間
12	公共施設の在り方の検討 (教育総務課、社会教育課、スポーツ課、図書館・子ども科学館)	・公共施設等総合管理計画に基づき、施設分類別の見直しの方向性を踏まえ、市民や利用者の意見を聞きながら、社会教育委員会、スポーツ推進審議会及び子ども科学館運営協議会において協議を重ね、具体的な取組について検討を進めます。	[目標値] ・それぞれの施設の個別の課題を解決するため、市民や利用者の意見を聞きながら、関係課等と協議を重ね検討を進めます。	・公共施設等総合管理計画に基づき、関係各課との協議を進めましたが、具体的な方向性を出せなかったため、市民や利用者、協議会等での意見聴取までは至りませんでした。 [今後の取組の方向性] ・関係各課との協議を進め、市民等の意見を聴取し、より具体的な取り組みを検討していきます。	・個々の課題解決に向け、関係各課との協議を行い、検討を進めました。